

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、片貝川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和44年8月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- 片貝川水系では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】流下能力不足解消のため、片貝川、布施川の整備を実施する。
布施川ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】布施川の中陣橋の架替によるボトルネック部の解消する。
 - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	片貝川および布施川の整備（河床掘削、堤防整備、橋梁架替、頭首工改修等）	富山県			
	布施川ダムにおける事前放流の実施	富山県			
	砂防関係施設の整備	富山県			
	森林整備・治山対策	富山森林管理署 富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	魚津市 黒部市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 魚津市 黒部市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R4年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 11.6億円※
片貝川の整備等
- 砂防対策
砂防堰堤、擁壁工等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進